

## 1. 適用対象事業所の概要

当社は、下記の国内4事業所及び蘇州惠普聯電子有限公司を環境管理の管理組織体と称して、5 管理組織体毎に、事業活動、製品及びサービス領域における環境マネジメントシステムの確立、運用管理、監視、改善活動を継続的に推進し、環境パフォーマンスの向上に努めています。

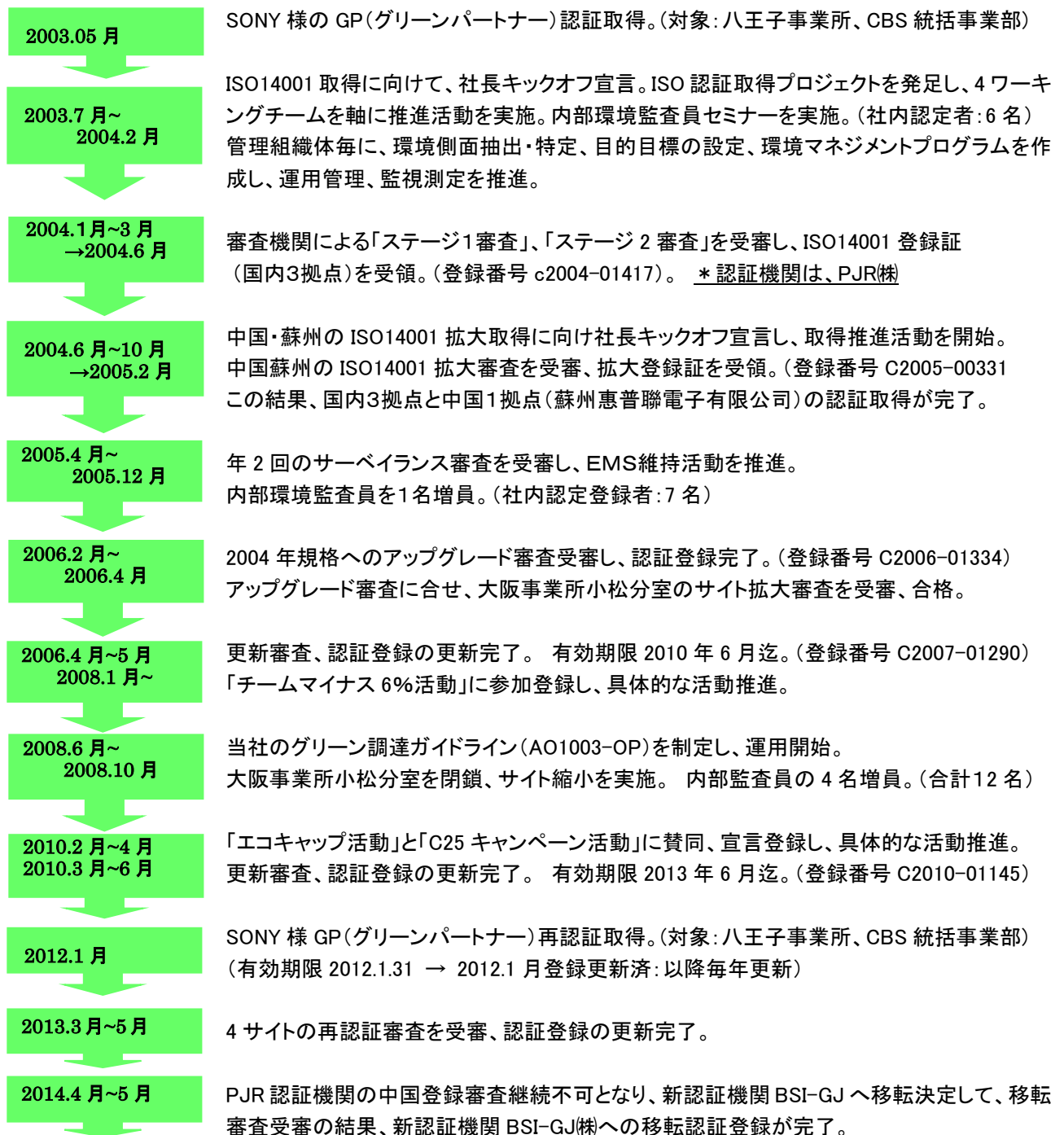
また、当該年度に外部審査機関(BSI-GJ)による ISO14001 の再認証審査が行われました。審査は年1回、規定に沿って実施され、「法規制・その他要求事項チェックシート」で問題の無いことが確認され認証が継続されています。

### [適用事業所]

- a. 本社・八王子事業所(HHdiv)    b. 人間事業所(IPlant)    c. 大阪事業所(Odiv)    d. 上野事業所(SSdiv)  
e. 蘇州惠普聯電子有限公司[中国江蘇省](SZE):

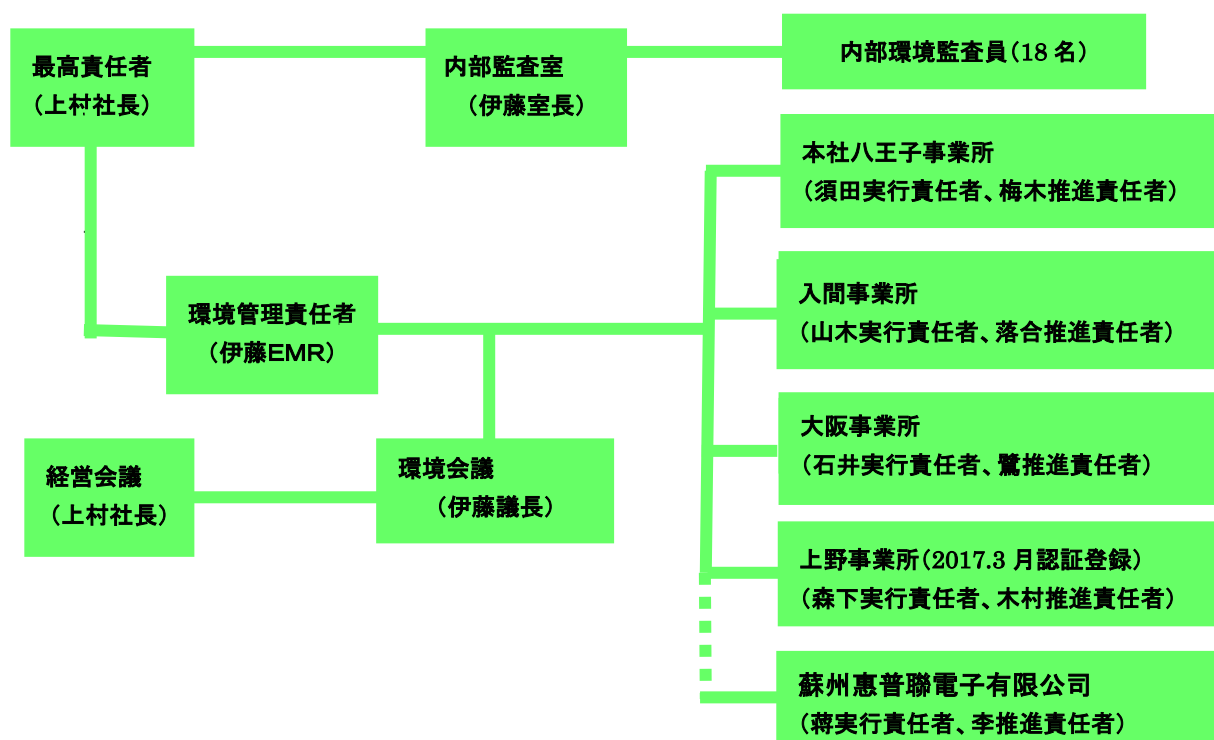
## 2. 環境保全への取組み

### 1) 環境活動の歩み





## 2) 環境管理組織(2021年度)



## 3) 環境方針(2021 年度)

## 環 境 方 針

### 環境理念

私達は、地球環境保全が21世紀における人類の最も重要な課題の一つであることを認識し、地球環境保全と将来の世代の夢が守られる持続可能な社会の義務にむけ、積極的に貢献を行っていきます。

### 環境方針

1. 産業用コンピュータシステムに関する事業活動を通じ、省資源、省エネルギー、廃棄物の減量、有機溶剤消費の削減等を行い、環境負荷の軽減に努めます。
2. 環境配慮設計及びグリーン調達に取組み、有害物質の使用を避け、RoHS 適合製品の提供を推進(鉛フリー等)し、有益な環境側面の創出に努めます。
3. 継続的な環境改善と汚染の予防に努めます。
4. 法規制、顧客要求・その他要求事項を順守し、環境保全を推進します。
5. 環境目的、目標を設定、運用管理、監視・測定し、必要に応じて見直しを実施します。環境パフォーマンス向上のため、定期的なレビューを行い、環境マネジメントシステムの継続的改善活動を推進します。
6. この方針は文書化し、実行維持し、全従業員と当社のために働く人に周知徹底します。また、社外からの人々の要求に対して開示します。

制定 2021 年 04 月 01 日

エブレン株式会社

代表取締役社長 上村 正人

## 4) 方針、目的目標及び活動実績の概要

2021 年度の ISO14001EMS 活動は、2015 年規格のマネジメントシステムの適合、運用定着活動と有益な環境側面の創出を含めた環境パフォーマンス向上活動へ継続的に取組みました。

特に、2015 年要求規格ポイントの「組織の状況、リーダーシップ、リスク及び機会への取組み」について、意識的に取組むとともに、定着に努めております。

推進のポイントは従来同様、継続的に、一つは法規制と同意するその他要求事項の順守活動、二つ目はお客様へ環境に配慮した製品の提供及び製品の規制物質などの有害含有物を削除、削減を行い、RoHS 指令等に適合した製品創出活動、三つ目は快適な職場環境の改善実現活動及び環境の負荷低減、減量、維持管理活動です。

本年度も環境省の COOL CHOICE 活動に登録し、「スーパークールビズ活動」と「ウォームビズ活動」を継続的に推進し、電力使用量の削減及び CO<sub>2</sub> の削減に努め、今期も電気料金抑制に取組み、成果(2007 年比)を得ました。ただし、売上高増加に伴う工場稼働率がアップし 3 月単月で電力消費量も増加(7.9%)したものの、燃料調整費が下期からマイナスからプラスに大きく転換されたことで、前年より電気料金は、3 月単月で増加(32.2%)しています。電力量は、季節変動によるエアコン使用率に大きく影響されますが、節電活動は維持継続されております。

また、今期も滞留資産のトレンド管理、分析を行い発生抑制の継続的改善に取組み、増加抑制活動の具体的な成果が得られました。併せて、継続的に廃棄物の処理費用発生から有価物としての売却化に取組み、成果を得ております。

引続き、著しい環境側面、リスクを踏まえ有益な環境側面の創出活動を軸にした環境管理への取組みを経営方針の一つとし、事業活動との融合を図り、環境管理費用の低減と環境保全活動を推進しております。

## 5) 2021 年度の実績評価

## ①改善推進テーマ

推進テーマ	管理組織体	目標値	実績値	判定	達成率
有益な工場環境の実現 (モデル工場)	HHdiv	8.0 件の改善実行[5S 維持管理]	9 件改善完了	○	113%
	HHdiv	4.0 件の改善実行[安全環境配慮製造ライン]	5 件改善完了	○	125%
	HHdiv	24.0 件の改善実行[変種変量製造ライン]	105 件改善完了	○	438%
	Iplant	8.0 件の改善実行[機能的な安全快適な工場環境実現]	8 件改善完了	○	100%
	IPlant	24 件の改善実行[社内資産活用し効率的な作業環境実現]	25 件改善完了	○	104%
	Odiv	12 件の改善実行[3T 実施と継続]	13 件改善完了	○	108%
	Odiv	12 件の改善実行[5S 実施と継続]	12 件改善完了	○	100%
	SSdiv	6.0 件の改善実行[安全快適効率的なオフィス環境改善]	6 件改善完了	○	100%
RoHS 対応製品の供給	SZE	部品 24 件以上環境負荷物質の含有物調査]	29 件完了	○	121%
不良資産の発生抑制	SSdiv	10 件の改善実行[資材調達方式改善]	10 件改善完了	○	100%
仕損じ撲滅活動	HHdiv	1,500,000 円以下	2,457,126 円	×	164%
	Iplant	240,000 円以下	148,090 円	○	62%
	Odiv	540,000 円以下	597,854 円	△	111%
	SSdiv	320,000 円以下	222,988 円	○	70%
	SZE	24,000 円以下	9,887 円	○	41%

## ②継続監視テーマ

推進テーマ	管理組織体	監視基準値(125%)	前年実績値	実績値	前年対比率	判定
資源枯渇抑制 (電力使用量)	HHdiv	200,394 kWh 以下	160,315 kWh	163,788 kWh	102.2%	△
	IPlant	94,544 kWh 以下	75,635 kWh	67,476 kWh	89.2%	○
	Odiv	129,799 kWh 以下	103,839 kWh	112,439 kWh	108.3%	△
	SSdiv	48,849 kWh 以下	39,079 kWh	41,951 kWh	107.3%	△
	SZE	16,891 kWh 以下	13,513 kWh	14,026 kWh	103.8%	△
資源枯渇抑制 (最大需要電力)	HHdiv	82 kw	87 kw	86 kw	104.9%	△
	IPlant	54 kw	60 kw	56 kw	103.7%	△
	Odiv	89 kw	90 kw	87 kw	97.8%	○
	SSdiv	80 kw	92 kw	95 kw	118.8%	△
RoHS 対応製品の供給(鉛 フリー化推進)	HHdiv	17.55kg 以下	14.04kg	11.04kg	78.6%	○
	Odiv	0.63kg 以下	0.50kg	0.00kg	0.0%	○
資源枯渇抑制 (ガソリン)	HHdiv	13.1kg 以下	16.3kg 以下	15.5kg 以下	94.7%	△
	IPlant	7.9kg 以下	9.9kg 以下	9.5kg 以下	95.9%	△
	Odiv	16.5kg 以下	20.6kg 以下	16.8kg 以下	81.3%	△
	Odiv(トラック)	6.4kg 以下	8.0kg 以下	10.1kg 以下	127.2%	○
資源枯渇抑制 (用紙)	HHdiv	361,250 枚以下	289,000 枚	243,500 枚	84.3%	○
	SSdiv	11,250 枚以下	9,000 枚	14,000 枚	155.6%	×
	SZE	28,125 枚以下	22,500 枚	23,000 枚	102.2%	△
資源枯渇抑制 (水道)	HHdiv	449 m <sup>3</sup> 以下	359 m <sup>3</sup>	351 m <sup>3</sup>	97.8%	○
	IPlant	144 m <sup>3</sup> 以下	115 m <sup>3</sup>	128 m <sup>3</sup>	111.3%	△
	Odiv	346 m <sup>3</sup> 以下	277 m <sup>3</sup>	278 m <sup>3</sup>	100.4%	△
	SSdiv	158 m <sup>3</sup> 以下	126 m <sup>3</sup>	121 m <sup>3</sup>	96.0%	○
資源枯渇抑制 (廃棄物、有価物)	HHdiv(一般)	600kg 以下	480kg	420kg	87.5%	○
	IPlant(一般)	3,540kg 以下	130kg	230kg	176.9%	×
	Odiv(一般)	375kg 以下	300kg	200kg	66.7%	○

SSdiv(一般)	246kg 以下	197kg	149kg	75.5%	○
HHdiv(産業)	4,739kg 以下	3,791kg	5,575kg	147.1%	×
IPlant(産業)	2,694kg 以下	2,155kg	3,543kg	164.4%	×
Odiv(産業)	4,638kg 以下	3,710kg	5,020kg	135.3%	×
SSdiv(産業)	0kg 以下	0kg	0kg	-	○
Odiv(タンホール)	988kg 以下	790kg	1,250kg	158.2%	×
HHdiv(有価)	-	496kg	2,932kg	591.3%	-
IPlant(有価)	-	0kg	0kg	-	-
Odiv(有価)	-	790kg	1,250kg	158.2%	-
SSdiv(有価)	-	0kg	0kg	-	-
SZE(有価)	-	19,552 円	26,578 円	135.9%	-

③ 電力使用量と CO<sub>2</sub> 削減成果(スーパークールビズ活動/ウォームビズ活動、2007 年比)

部門	HHdiv	IPlant	Odiv	SSdiv	国内計	SZE	全社計
削減電力量(kWh)	86,024	74,777	52,234	10,703	223,738	9,338	233,076
削減経費(円) *1	2,003,499	1,741,556	1,216,530	249,273	5,210,858	217,482	5,428,340
削減 CO <sub>2</sub> (Kg) *2	37,937	32,977	23,035	4,720	98,668	4,118	102,787

\*1: 平均電気料金は、24.9 円/ kWh

\*2: CO<sub>2</sub> 排出係数は、0.441kg-CO<sub>2</sub>/kWh

④ 前年(2020 年度)比、電気使用量の削減成果 = 各事業部共に生産量増加に伴う電力量の増加がみられる。

部門	HHdiv	IPlant	Odiv	SSdiv	SZE	全社計
2020 年度電気使用量(kWh)	160,315	75,635	103,839	39,079	13,513	392,381
2021 年度電気使用量(kWh)	163,788	67,476	112,439	41,951	14,026	399,680
前期比抑制電気使用量(kWh)	-3,473	8,159	-8,600	-2,872	-513	-7,299
前期比電気使用量抑制率(%)	-2.2%	10.8%	-8.3%	-7.3%	-3.8%	-1.9%

⑤ 前年(2020 年度)比、電気料金の削減成果 = 燃料調整費が下期からプラスに転換され、電気料金は大幅上昇

部門	HHdiv	IPlant	Odiv	SSdiv	国内計
2020 年電気料金(円)	3,670,851	1,724,788	2,624,483	803,377	8,823,499
2021 年電気料金(円)	3,969,974	1,767,629	2,926,878	948,579	9,613,060
電気料金抑制金額(円)	-299,123	-42,841	-302,395	-145,202	-789,561
電気料金抑制率(%)	-8.1%	-2.5%	-11.5%	-18.1%	-8.9%

⑥ 3R活動の成果

部門	HHdiv	IPlant	Odiv	SSdiv	全社計
全体排出量(kg)	8,858	3,773	6,470	149	19,249
有価物分別量(kg)	2,932	0	1,250	0	1,286
有価物割合(%)	32.6	0.0	19.3	0.0	21.6
有償換金(円)	99,228	0	11,250	0	110,478

⑦ エコキャップ収集活動の成果

部門	HHdiv	IPlant	Odiv	全社計
収集量(Kg)	16.1	6.7	16.6	39.4
収集量(個数)	6,923	2,881	7,138	16,942
ワクチン:ポリオ(人分)	8.05	3.35	8.3	19.7
削減 CO <sub>2</sub> (Kg)	50.715	21.105	52.29	124.11

## 6) ISO14001:外部審査と内部監査の結果

審査、監査の区別	外部審査	内部監査					
		HHdiv	IPlant	Odiv	SSdiv	SZE	SONY-GP
対象部門	国内4部門						
監査期日	2022.03	2021.10	2021.12	2021.11	2022.01	2021.11	2022.02
監査結果(不適合/要観察)	0件/0件	0件/0件	0件/0件	0件/0件	0件/0件	0件/0件	0件/0件
改善機会コメント/Good point)	23件/8件	2件/0件	1件/1件	2件/1件	1件/1件	0件/1件	0件/0件

## 7) 2022年度の主な取り組み事項

- a. 2022年度のEMS、環境活動は、運用管理の軽量化及びスマート、自然体での推進に継続して注力いたします。
- b. 賛同した“COOL CHOICE”や各種エコ活動を推進します。(Sクールビズ活動、ウォームビズ活動の定常的推進)
- c. 本社八王子地区における“モデル工場化”活動を継続し、より具体的な目標と施策、到達点を明確にした活動を行い、その成果を他事業所に有効展開を図り環境品質パフォーマンス向上に努めます。
- d. 資源枯渇に着眼し、滞留資産の発生抑制と生産財の無駄な廃棄の監視・改善活動を継続推進します。
- e. 環境管理費用の管理方法の調査、情報収集及び低減活動を継続的に継続推進します。

以上